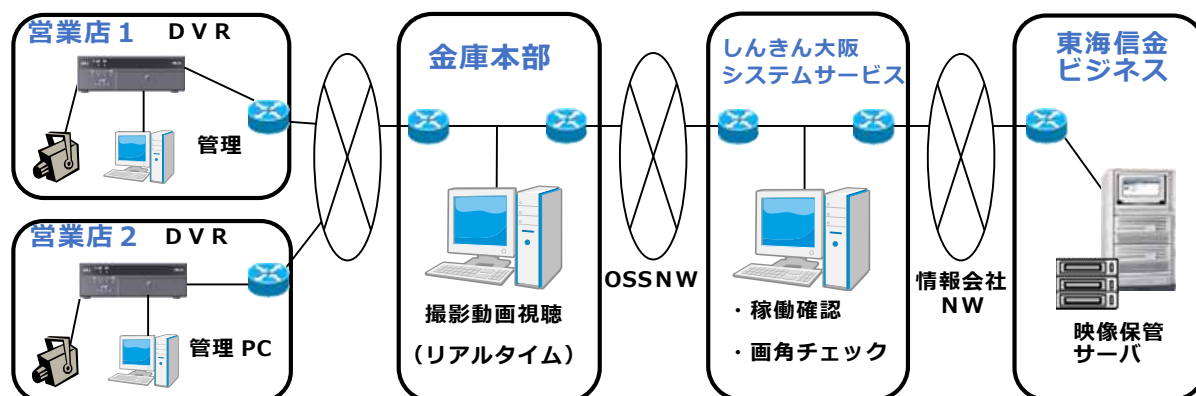


共同利用型映像データ保管サービス

信用金庫の監視カメラの映像データにつきましては、犯罪の防止や検出ならびに顧客係争時の証跡として重要性が高まっており、監視カメラの稼働状況の確認や過去の映像データの厳格な管理等が求められています。

本サービスは、信用金庫の運用負荷が少なく、安全・確実に監視カメラの映像データが長期間保管できる、株式会社東海信金ビジネス（TSB）との共同利用システムとして、2019年10月に提供開始いたしました。

1. ご利用イメージ図



2. サービスの特長

- (1) 映像データの収集サーバと外部媒体（LTO）を併用することで、映像データの長期保管（2年間）が可能。
- (2) 営業店に設置した管理PCから対象DVRの映像が閲覧でき、店舗の状況が容易に確認可能。（本部からは全店舗の映像が閲覧できます）
- (3) 当局対応（指定された映像データの提出）時には、金庫本部に設置する端末から内容確認および媒体作成が可能。
- (4) 当社にて監視カメラの画角、稼働状況を確認します。（平日のみ、1日1回）

以上